移動型 X 線撮影装置 一式

仕 様 書

令和2年11月20日 大阪市立総合医療センター

什様書

- 品名
 移動型 X 線撮影装置
- 2 構成内訳別紙のとおり
- 3 納入期限令和3年3月31日(水)
- 4 納入場所 大阪市都島区都島本通2丁目13番22号 総合医療センター 手術センター
- 5 保証期間 検査合格日より1年間
- 6 特記事項
 - (1) 本製品の搬入・据付にあたっては、当センターの業務に支障をきたさないよう当センターの指示どおり実施し、正常作動するよう点検・調整を行うこと。
 - (2)納品に伴う搬送・既存機器(GE OEC9800)の取り外し・据付・試運転等、その他すべての費用は契約金額に含むこと。なお、既存機器については下取りすること。
 - (3) 本製品に関する事故・安全情報等は、ただちに報告すること。また、改良等がなされた場合も同等とする。
 - (4) グリーン配送の規定を遵守すること。
 - (5)納品時に取扱説明書が存在する場合納品部署に提出すること。また、シリアルナンバー等、 個体の限定が可能な情報は納品書等に記載し報告すること。
 - (6) 納品時に当院の管理する備品シールを貼付し、納品書・保証書・添付文書・取扱説明書・簡 易取扱説明書・画像データ(JPEG)を提出すること。
 - (7)機器の仕様方法等に関しては常時説明できること。
 - (8) 応札に当たっては本仕様書を十分検討し、疑義ある場合は質問期間内に指定の方法によりよく質し、その内容を熟知の上応札するものとする。質問受付期間経過後の疑義については受付しない。契約後における仕様書の疑義は、当機構の解釈によるものとする。

7 事業担当課

7 5 3 4 - 0 0 2 7

大阪市都島区中野町5丁目15番21号(都島センタービル)

地方独立行政法人 大阪市民病院機構

大阪市立総合医療センター 財務部財務課

TEL 06-6929-3627

(1) 品名 外科用イメージ

(2) 構成等

No.	構成内容	数量	備考
1	外科用イメージ	1式	
	・Cアーム型X線発生装置	1式	
	・モニタカート(ワークステーション)	1式	
	·DICOM接続	1式	
	・既存装置撤去	1式	

- ※ 設置前調整、設置、配線・配管、接続、稼働支援等、装置稼働に係る一切の業務を含むこと。
- ※ その他、上記装置を稼動させるために必要な構成は含めること。

(3) 納入場所 大阪市立総合医療センター

(性能、機能に関	
1	移動型外科用X線イメージ装置は以下の要件を満たしていること。
1-1	C アーム本体は以下の要件を満たしていること。
1-1-1	X線検出器は以下の要件を満たしていること。
1-1-1-1	CMOS方式のフラットパネルディテクタを搭載していること。
1-1-1-2	視野の切り替えは3段階以上であること。
1-1-1-3	視野サイズは30×30cm以上であること。
1-1-1-4	連続透視の解像度は1548×1524ピクセル以上であること。
1-1-1-5	脱着可能なグリッドを有していること。
1-1-1-6	位置決め用のレーザー照射機能を有すること。
	The state of the s
1-1-2	X線管装置およびX線発生装置は以下の要件を満たしていること。
1-1-2-1	発生方式はインバータ方式であること。
1-1-2-2	最大出力は 15kW 以上であること。
1-1-2-3	透視時の最大管電圧は120kV以上であること。
1-1-2-4	透視時の最大管電流は20mA以上であること。
1-1-2-5	透視、高線量透視、パルス透視、デジタル撮影ができること。
1-1-2-6	パルス透視フレームレートは最大30フレーム/秒が可能であること。
1-1-2-7	回転陽極であること。
1-1-2-8	陽極蓄積熱容量は 300,000HU 以上であること。
1-1-2-9	陽極冷却効率は 85,000HU/分 以上であること。
1-1-2-10	
1-1-2-10	ハウンフク
1-1-2-11	冷却方式は空冷ヒートパイプ方式もしくは水冷方式を有していること。
1-1-2-12	X線管の焦点は0.3mm以下の小焦点/0.6mm以下の大焦点の2焦点を有していること。
1-1-2-13	コリメーション機能を備え、左右対称または非対称の絞りを設定できること。
1-1-2-14	可変絞りの操作は、ラストイメージホールドにてラインインジケータ等でX線照射なしでも操作が可
	能であること。
1-1-2-15	被ばく低減付加フィルタとして、0.1mmCuEq以上または6.0mm/Al以上の厚みのフィルタを有する
1-1-2-16	過負荷防止機能として、警告表示、ブザー音等を有していること。
1-1-3	アームは以下の要件を満たしていること。
1-1-3-1	開口部は79cm 以上であること。
1-1-3-2	奥行きは73cm 以上であること。
1-1-3-3	横回転は360°以上であること。
1-1-3-4	円弧回転は145°以上であること。
1-1-3-5	上下動は46cm以下であること。
1-1-3-6	前後動は20cm以上であること。
1-1-3-7	焦点からFPD.間の距離が100cm以上であること。
1-1-3-8	Cアームのロック方式は手動レバーロック式または電磁ロック方式であること。
1-1-3-9	ワイヤレスフットスイッチを有すること。
1-1-3-10	ハンドスイッチを有すること。
1-1-3-11	12インチ以上のコントロールパネルを有していること。
1-1-3-12	コントロールパネルはタッチ方式であること。
1-1-3-13	コントロールパネルで画像回転や画像拡大、画像呼び出しを行える機能を有していること。
1-1-3-14	車輪にケーブル巻き込み防止装置を備えていること。
1-1-3-15	重量は360kg以下であること。
1.2	ワークステーション本体は以下の要件を満たしていること。
1-2	
1-2-1	モニタは以下の要件を満たしていること。 22インチ以上の流見エークを1分または10インチ以上の流見エークを2分をオステレ
1-2-1-1	32インチ以上の液晶モニタを1台または19インチ以上の液晶モニタを2台有すること。
1-2-1-2	解像度は1280 x 1024ピクセル以上でること。

1-2-1-3		
1-2-2-1 フークステーション機能は以下の要件を満たしていること。		最大輝度は600cd/㎡以上であること。
1-2-2-1 フストイメージホールド機能を有していること。 1-2-2-3 宣戦でコントラスト、解復を調整できること。 1-2-2-6 ごがロントラスト、解復を調整できること。 1-2-2-6 ごが成りにハレーションを自動的刺する機能を有していること。 1-2-2-6 ごがタルベン、またはマクスにより血管のマーキングが可能であること。 1-2-2-7 デジタルベン、またはマクスにより血管のマーキングが可能であること。 1-2-2-7 デジタルズーム機能を有していること。 1-2-2-7 アジタルベン、またはマクスにより血管のマーキングが可能であること。 1-2-2-7 アジタルズーム機能を有していること。 1-2-2-9 DSAの造影が無要示ができること。 1-2-2-10 ロードマップ機能を有していること。 1-2-2-10 ロードマップ機能を有していること。 1-2-2-11 グラフィックナーバーレイ機能を有し、DSA根影画像およびロードマップ画像に可能なこと。 1-2-2-12 モニタ上の分割以上で表示可能であること。 1-2-2-13 DSAの収集レートは30がps以上であること。 1-2-2-14 DSAの数量を作り30が以上であること。 1-2-2-15 画像保存枚数は、40,000 枚以上であること。 1-2-2-17 伊電時にシステムを安全に停止するシャットダウン機能を有していること。 1-2-2-17 伊電時にシステムを安全に停止するシャットダウン機能を有していること。 1-2-2-17 原内の機能サーバーへ電機を1000が公標できること。 1-2-2-18 可像とが関ケでも BOVDまたは105kドラインを表現に使用できること。 1-3-3 院内の放射線を報び、40000 枚以上であること。 1-3-3 院内の放射線を報び、40000 校以上であること。 1-3-1 院内の成射線を報び、40000 校以上であること。 1-3-2 院内の放射線を報び、40000 校以上であること。 1-3-3 院内の放射線を報び、40000 校以上であること。 1-3-4 DICOM Networkにフィヤーレスまたは4種接続が可能なこと。 1-3-5 院内の放射を影響を置いてインスまたは4種接続が可能なこと。 2-2 (性能、機能以外に関する遅伸) 1-1 本語とたかから外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 2-3 大きないから外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 2-3 大きないから外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 2-3 大きないから外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 2-4 本語はたかかる外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 2-5 大きないから、12 エースのよりに対していること。 2-6 撮入・起付・記憶・エースの大きいコースのよりに対しては、第二を表にないます。1-2-2-1 は対しまないます。1-2-2-1 は対しまないます。1-2-2-2 は対しまないます。1-2-2 は対しまない	1-2-1-4	タッチパネルで操作ができること。
1-2-2-1 フストイメージホールド機能を有していること。 1-2-2-3 宣戦でコントラスト、解復を調整できること。 1-2-2-6 ごがロントラスト、解復を調整できること。 1-2-2-6 ごが成りにハレーションを自動的刺する機能を有していること。 1-2-2-6 ごがタルベン、またはマクスにより血管のマーキングが可能であること。 1-2-2-7 デジタルベン、またはマクスにより血管のマーキングが可能であること。 1-2-2-7 デジタルズーム機能を有していること。 1-2-2-7 アジタルベン、またはマクスにより血管のマーキングが可能であること。 1-2-2-7 アジタルズーム機能を有していること。 1-2-2-9 DSAの造影が無要示ができること。 1-2-2-10 ロードマップ機能を有していること。 1-2-2-10 ロードマップ機能を有していること。 1-2-2-11 グラフィックナーバーレイ機能を有し、DSA根影画像およびロードマップ画像に可能なこと。 1-2-2-12 モニタ上の分割以上で表示可能であること。 1-2-2-13 DSAの収集レートは30がps以上であること。 1-2-2-14 DSAの数量を作り30が以上であること。 1-2-2-15 画像保存枚数は、40,000 枚以上であること。 1-2-2-17 伊電時にシステムを安全に停止するシャットダウン機能を有していること。 1-2-2-17 伊電時にシステムを安全に停止するシャットダウン機能を有していること。 1-2-2-17 原内の機能サーバーへ電機を1000が公標できること。 1-2-2-18 可像とが関ケでも BOVDまたは105kドラインを表現に使用できること。 1-3-3 院内の放射線を報び、40000 枚以上であること。 1-3-3 院内の放射線を報び、40000 校以上であること。 1-3-1 院内の成射線を報び、40000 校以上であること。 1-3-2 院内の放射線を報び、40000 校以上であること。 1-3-3 院内の放射線を報び、40000 校以上であること。 1-3-4 DICOM Networkにフィヤーレスまたは4種接続が可能なこと。 1-3-5 院内の放射を影響を置いてインスまたは4種接続が可能なこと。 2-2 (性能、機能以外に関する遅伸) 1-1 本語とたかから外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 2-3 大きないから外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 2-3 大きないから外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 2-3 大きないから外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 2-4 本語はたかかる外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 2-5 大きないから、12 エースのよりに対していること。 2-6 撮入・起付・記憶・エースの大きいコースのよりに対しては、第二を表にないます。1-2-2-1 は対しまないます。1-2-2-1 は対しまないます。1-2-2-2 は対しまないます。1-2-2 は対しまない		
1-2-2-2	1-2-2	ワークステーション機能は以下の要件を満たしていること。
1-2-2-3 全属を自動検知しハーションを自動抑制する機能を有していること。 1-2-2-4 所能と内皮は胸機能を有していること。 1-2-2-5 アジタルベン、またはマウスにより血管のマーキングが可能であること。 1-2-2-7 アジタルベン、またはマウスにより血管のマーキングが可能であること。 1-2-2-8 DSA機能を有していること。 1-2-2-9 DSAの造形炉業長ができること。 1-2-2-9 DSAの造形炉業長ができること。 1-2-2-10 ロードマッグ機能を有していること。 1-2-2-11 グラフィックオーバーレイ機能を有し、DSA撮影画像およびロードマップ画像に可能なこと。 1-2-2-11 グラフィックオーバーレイ機能を有し、DSA撮影画像およびロードマップ画像に可能なこと。 1-2-2-12 DSAの機能としても近いの表こと。 1-2-2-14 DSAの動画保存は30分以上であること。 1-2-2-15 重像が保存できるDVDまたはUSBドライブを有すること。 1-2-2-16 重像が保存できるDVDまたはUSBドライブを有すること。 1-2-2-17 伊電時にシステムを安全に停止するシャットダウン機能を有していること。 1-2-2-18 電像が保存できるDVDまたはUSBドライブを有すること。 1-2-2-19 画像をプリントできること。 1-2-2-19 画像をプリントできること。 1-3-1 深内の画像サーバーへ画像をDICOM送信できること。 1-3-1 深内の画像サーバーへ画像をDICOM送信できること。 1-3-1 深内の画像サーバーへ画像をDICOM送信できること。 1-3-1 深内の画像サーバーへ画像をDICOM送信できること。 1-3-1 深内の放射接続車管理システムへ手順面の機管情報を延信できること。 1-3-1 第内の放射接続車管理システムへ手順面の機管情を支援合きること。 1-3-1 第内の検とステムに接続できること。 1-3-1 本調達にかかる外科用イメージは、当センター中央手術がに設置すること。 1-3 かの検とステムに接続できること。 1-3 本調達にかかる外科用イメージは、当センター中央手術がに設置すること。 1-1 本調達にかかる外科用イメージは、当センター中央手術がに設置すること。 2 整プステム接続に係る既設システム側の一切の接続費用を見込むこと。 1-3 本調達に含めること。 2 整プ条に関係が呼ばいること。 2 整入・腰付・配管・配接・既存品の機士及び地分 既存品の機士を対してと。 2 整入・腰付・配管・配接・既存品の機士及び地分 既存品の機士を引してと。 2 整入・腰付・配管・正確・不可が受きな場合は、それに関わる資用はすべて契約に含まれること。 2 を表の関係のに伴い、話室の皮棒・正事が必要な場合は、納入予定日、エキア定即院を手前に当センターの過度と顕微力については、第センターの機能として使用があること。 2 を表しいでは、正確に対しては、表しいでは、単位を表しいよりに対してマーフェストを提出すること。また、既存器型の場上のよりに対してマーフェストを提出すること。 2 を表しいでは、まずに対しては、表しいでは、まずに対しては、表しいでは、まずに対していては、表しいでは、まずに対していては、表しいでは、まずに対していては、まずに対していては、表しいでは、まずに対していては、まずに対していては、まずに対していては、まずに対していては、まずには、まずには、まずには、まずには、まずには、まずには、まずには、まずに	1-2-2-1	ラストイメージホールド機能を有していること。
1-2-2-4 起例に応じたプリセットアナトミカルプロファイルが選択できること。 1-2-2-5 短離と角度計測機能を有していること。 1-2-2-7 デジタルズーム機能を有していること。 1-2-2-7 デジタルズーム機能を有していること。 1-2-2-9 DSAの虚影は野妻宗ができること。 1-2-2-10 ロードマップ機能を有していること。 1-2-2-10 ロードマップ機能を有していること。 1-2-2-11 グラフィックェーバーレイ機能を有し、DSA撮影画像およびロードマップ画像に可能なこと。 1-2-2-12 ビータ上に9分割以上にて表示可能であること。 1-2-2-13 DSAの収集レートは30fs以上であること。 1-2-2-15 国像保存を対比、40,000 枚以上であること。 1-2-2-16 国像保存を対比、40,000 枚以上であること。 1-2-2-17 管室時にラステムを安全に停止するシャットダウン機能を有していること。 1-2-2-18 電源保存を対比、40,000 枚以上であること。 1-2-2-19 国際保存を対比、40,000 枚以上であること。 1-2-2-11 国際保存を対比しては、以下の要件を満たすこと。 1-2-2-12 世像をブリントできること。 1-2-2-13 電像をブリントできること。 1-3-1 が内の成射線制電グロビの社会できること。 1-3-2 が内の成射線制を対フステムを持備をの機関情報を送信できること。 1-3-3 が内の成射線制を対フステムを手術者の機関情報を送信できること。 1-3-3 が内の成射線制を対フステムを手術者の機関情報を送信できること。 1-3-4 DICOM Networkにフィヤヤレスまたは有脳技能が可能なこと。 第内の変々大テムに保証できること。 1-3-4 中国に対した一次側影像以外に必要な電源設備、総様水設備、空間設備、改修工事等については、環境によるかる外別用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 (性能、機能以外に関する要件) 1 投資条件等 1-1 本議定にかる外別用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 1-3 システム接続に係る取設システム側の一切の接続費用を見込むこと。 2 搬入・提付・配管・起線・販子品の他の一切の建筑機能したこと。 また、改修・工事内をについては、当センター・担当産と協議すること。 2 搬入・提付・配管・起線・販子品の搬去及び映分 2-1 既存品の搬去および処分については、当立とターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの組足と協議の上その指示によること。 2 投入・提付・配管・記線・販子品の職士をおよび場合いなは、対入業者の企業領担にて行ってフェストを提出すること。よた、認存基面の職品を対して行うこと。 2-2 装置の影響が記述するとかよりにすること。 2-3 必要が確定が修り上で影響と対象に関すること。 3 保守体制等	1-2-2-2	自動でコントラスト、輝度を調整できること。
1-2-2-5	1-2-2-3	金属を自動検知しハレーションを自動抑制する機能を有していること。
1-2-2-5	1-2-2-4	
1-2-2-6 デジタルベン、またはマウスにより血管のマーキングが可能であること。		
1-2-2-8 DSA機能を有していること。 1-2-2-10 DSA機能を有していること。 1-2-2-11 クラフィックオーバーレイ機能を有し、DSA機影画像およびロードマップ画像に可能なこと。 1-2-2-11 クラフィックオーバーレイ機能を有し、DSA機影画像およびロードマップ画像に可能なこと。 1-2-2-13 DSAの収集レートは30fps以上であること。 1-2-2-14 DSAの動画保存は30分以上であること。 1-2-2-15 画像像存放数は、40,000 枚以上であること。 1-2-2-16 画像像存放数は、40,000 枚以上であること。 1-2-2-17 神密防にシステムを安全に停止するシャットダウン機能を有していること。 1-2-2-18 電像保存放数は、40,000 が以上であること。 1-2-2-19 画像像を対象は、40,000 が以上であること。 1-2-2-19 情像をブリントできること。 1-2-2-19 無像をブリントできること。 1-2-2-19 無像をブリントできること。 1-3-1 院内の敵解機情報システムから患者情報を取得できること。 1-3-2 院内の放射機情報システムから患者情報を取得できること。 1-3-3 院内の放射機情報システムから患者情報を取得できること。 1-3-3 院内の放射機情報システムから患者情報を取得できること。 1-3-4 DICOM Networkにフイヤレスまたは有線接続が可能なこと。 1-3-5 院内の検像システムに接続できること。 (性能、機能以外に関する要件) 1		
1-2-2-9		
1-2-2-9 DSAの遮影が算表示ができること。		
1-2-2-10 ロードマップ機能を有していること。 1-2-2-11 グラフィックオーベーレイ機能を有し、DSA機影画像およびロードマップ画像に可能なこと。 1-2-2-13 DSAの収集レートは30fps以上であること。 1-2-2-13 DSAの収集レートは30fps以上であること。 1-2-2-14 DSAの動画保存は30分以上であること。 1-2-2-15 画像保存枚数は、40,000 枚以上であること。 1-2-2-16 画像が保存できるDVDまたはUSBドライブを有すること。 1-2-2-17 停電時にシステムを安全に停止するシャットダウン機能を有していること。 1-2-2-18 電源仕様は200V10Aであること。 1-2-2-19 画像をブリントできること。 1-2-2-19 画像をブリントできること。 1-3-2・1-3-2・1-3-2・1-3-3・1-3-2・1-3-3・1-3-2・1-3-3・1-3-2・1-3-3・1-3-2・1-3-3-3・1-3-3-3・1-3-3-3・1-3-3-3・1-3-3-3・1-3-3-3・1-3-3-3・1-3-3-3-3		
1-2-2-11 グラフィックオーバーレイ機能を有し、DSA撮影画像およびロードマップ画像に可能なこと。 1-2-2-12 モータ上に9分割以上にで表示可能であること。 1-2-2-14 DSAの販量保存は30分以上であること。 1-2-2-15 画像保存性数は、40,000 枚以上であること。 1-2-2-16 画像が保存できるDVBよびはJSBトライブを有すること。 1-2-2-17 伊電前にシテアムを安全に停止するシャットダウン機能を有していること。 1-2-2-18 電源仕様は200V10Aであること。 1-2-2-19 画像をプリントできること。 1-2-2-19 画像をプリントできること。 1-3-2-2-19 画像をプリントできること。 1-3-2-2-19 画像をプリントできること。 1-3-1 院内の面像サーバーへ画像をDICOMが信できること。 1-3-1 院内の面像財験情報システムから患者情報を取得できること。 1-3-3 院内の放射線解音管型システムから患者情報を取得できること。 1-3-3 院内の放射線解音管型システムから患者情報を取得できること。 1-3-3 院内の放射線解音管型システムの手術毎の観音情報を送信できること。 1-3-4 DICOM Networkにフイヤレスまたは有線接続が可能なこと。 1-3-5 院内の検像システムに接続できること。 (性能、機能以外に関する要件) 1 設置条件等 1-1 本調達に合かるの外相用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 1-2 当センターが用意した一次側設備以外に必要な電源設備、給排水設備、変調設備、改修工事等については、基連に含めること。 1-3 システム接続に係る競設システム側の一切の接続費用を見込むこと。 1-4 本装置稼働に伴い、諸室の改修・工事が必要な場合は、それに関わる費用はすべて契約に含まれること。また、改修・工事の部でについては、事前に当センター担当者と協議すること。 2 搬入・銀付・配管・配縁・既存品の撤去及び処分 2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの撮音と協達のよりますとと。また、既存接近の始去及び始出については、納え業者の金額負担にて行 2-3 必要計室の破修・工事はび装置の放告及び始出については、納え業者の金額負担におけては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 とこちに関係に関しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者の負担で行うことを置の現場内設置から使用開始までの養生等理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこと。		
1-2-2-12		
1-2-2-13		
1-2-2-14		
1-2-2-15 画像が保存できるDVDまたはUSBドライブを有すること。		
1-2-2-16 国像が保存できるDVDまたはUSBドライブを有すること。		
1-2-2-17 停電時にシステムを安全に停止するシャットダウン機能を有していること。		
1-2-2-18 電源仕様は200V10Aであること。		
1-2-2-19 画像をプリントできること。		
1-3 システム接続については、以下の要件を満たすこと。 1-3-1 院内の画像サーバーへ画像をDICOM送信できること。 1-3-2 院内の放射線情報システムから患者情報を取得できること。 1-3-3 院内の放射線情報システムから患者情報を取得できること。 1-3-4 DICOM Networkにワイヤレスまたは有線接続が可能なこと。 1-3-5 院内の検像システムに接続できること。 1-3-5 院内の検像システムに接続できること。 1-3-5	1-2-2-18	電源仕様は200V10Aであること。
1-3-1 院内の画像サーバーへ画像をDICOM送信できること。	1-2-2-19	画像をプリントできること。
1-3-1 院内の画像サーバーへ画像をDICOM送信できること。		
1-3-2 院内の放射線線量管理システムへ手術毎の線量情報を返信できること。 1-3-3 院内の放射線線量管理システムへ手術毎の線量情報を送信できること。 1-3-4 DICOM Networkにワイヤレスまたは有線接続が可能なこと。 1-3-5 院内の検像システムに接続できること。 (性能、機能以外に関する要件) 設置条件等 1-1 本調達にかかる外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 1-2 当センターが用意した一次側設備以外に必要な電源設備、給排水設備、空調設備、改修工事等については、本調達に含めること。 1-3 システム接続に係る既設システム側の一切の接続費用を見込むこと。 1-4 本装置稼働に伴い、諸室の改修・工事が必要な場合は、それに関わる費用はすべて契約に含まれること。また、改修・工事内容については、事前に当センター担当者と協議すること。 2 搬入・据付・配管・配線・既存品の撤去及び処分 2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの職員と協議の上その指示によること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行こっまえ、配廃存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行る要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うことの現内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うことの現内設置がら使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うことの表別場合は、対力を関するととの表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	1-3	システム接続については、以下の要件を満たすこと。
1-3-3 院内の放射線線量管理システムへ手術毎の線量情報を送信できること。 1-3-4 DICOM Networkにワイヤレスまたは有線接続が可能なこと。 1-3-5 院内の検像システムに接続できること。 (性能、機能以外に関する要件) 設置条件等 1-1 本調達にかかる外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 1-2 当センターが用意した一次側設備以外に必要な電源設備、給排水設備、空調設備、改修工事等については、本調達に含めること。 1-3 システム接続に係る既設システム側の一切の接続費用を見込むこと。 1-4 本装置稼働に伴い、活室の改修・工事が必要な場合は、それに関わる費用はすべて契約に含まれること。また、改修・工事内容については、事前に当センター担当者と協議すること。 2 搬入・据付・配管・配線・既存品の撤去及び処分 2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの職員と協議の上その指示によること。 2-2 装置の廃棄に関しては、関係法ろことをく適正に処分するため、処分に関する証明としてマニュストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行る要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置 般現へ限しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うことの提供の発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。 3 保守体制等	1-3-1	院内の画像サーバーへ画像をDICOM送信できること。
1-3-4 DICOM Networkにワイヤレスまたは有線接続が可能なこと。 1-3-5 院内の検像システムに接続できること。 (性能、機能以外に関する要件) 設置条件等 1-1 本調達にかかる外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 1-2 当センターが用意した一次側設備以外に必要な電源設備、給排水設備、空調設備、改修工事等については、本調達に含めること。 1-3 システム接続に係る既設システム側の一切の接続費用を見込むこと。 1-4 本装置稼働に伴い、諸室の改修・工事が必要な場合は、それに関わる費用はすべて契約に含まれること。また、改修・工事内容については、事前に当センター担当者と協議すること。 2 搬入・据付・配管・配線・既存品の撤去及び処分 2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの職員と協議の上その指示によること。 2-2 装置の廃棄に関しては、関係法令に反することなく適正に処分するため、処分に関する証明としてマニフェストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行る。 2-3 必要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うことの現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うことの表別にようにすること。 3 保守体制等	1-3-2	院内の放射線情報システムから患者情報を取得できること。
1-3-5 院内の検像システムに接続できること。	1-3-3	院内の放射線線量管理システムへ手術毎の線量情報を送信できること。
(性能、機能以外に関する要件) 1 設置条件等 1-1 本調達にかかる外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。 1-2 当センターが用意した一次側設備以外に必要な電源設備、給排水設備、空調設備、改修工事等については、本調達に含めること。 1-3 システム接続に係る既設システム側の一切の接続費用を見込むこと。 1-4 本装置稼働に伴い、諸室の改修・工事が必要な場合は、それに関わる費用はすべて契約に含まれること。また、改修・工事内容については、事前に当センター担当者と協議すること。 2 搬入・据付・配管・配線・既存品の撤去及び処分 2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの職員と協議の上その指示によること。 2-2 装置の廃棄に関しては、関係法令に反することなく適正に処分するため、処分に関する証明としてマニフェストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行る。要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこ2-6 据付で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。	1-3-4	DICOM Networkにワイヤレスまたは有線接続が可能なこと。
1	1-3-5	院内の検像システムに接続できること。
1		
1-1 本調達にかかる外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。	(性能、機能以外	に関する要件)
1-2 当センターが用意した一次側設備以外に必要な電源設備、給排水設備、空調設備、改修工事等については、本調達に含めること。 1-3 システム接続に係る既設システム側の一切の接続費用を見込むこと。 1-4 本装置稼働に伴い、諸室の改修・工事が必要な場合は、それに関わる費用はすべて契約に含まれること。また、改修・工事内容については、事前に当センター担当者と協議すること。 2 搬入・据付・配管・配線・既存品の撤去及び処分 2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの職員と協議の上その指示によること。 2-2 装置の廃棄に関しては、関係法令に反することなく適正に処分するため、処分に関する証明としてマニフェストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行る事業を可改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うことの発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。 3 保守体制等	1	設置条件等
ては、本調達に含めること。 1-3 システム接続に係る既設システム側の一切の接続費用を見込むこと。 1-4 本装置稼働に伴い、諸室の改修・工事が必要な場合は、それに関わる費用はすべて契約に含まれること。また、改修・工事内容については、事前に当センター担当者と協議すること。 2 搬入・据付・配管・配線・既存品の撤去及び処分 2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの職員と協議の上その指示によること。 2-2 装置の廃棄に関しては、関係法令に反することなく適正に処分するため、処分に関する証明としてマニフェストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行必要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うことの様式を表した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。 3 保守体制等	1-1	本調達にかかる外科用イメージは、当センター中央手術部に設置すること。
1-3 システム接続に係る既設システム側の一切の接続費用を見込むこと。 1-4 本装置稼働に伴い、諸室の改修・工事が必要な場合は、それに関わる費用はすべて契約に含まれること。また、改修・工事内容については、事前に当センター担当者と協議すること。 2 搬入・据付・配管・配線・既存品の撤去及び処分 2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの職員と協議の上その指示によること。 2-2 装置の廃棄に関しては、関係法令に反することなく適正に処分するため、処分に関する証明としてマニフェストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行必要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うことの現場で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。 3 保守体制等	1-2	当センターが用意した一次側設備以外に必要な電源設備、給排水設備、空調設備、改修工事等につい
1-3 システム接続に係る既設システム側の一切の接続費用を見込むこと。 1-4 本装置稼働に伴い、諸室の改修・工事が必要な場合は、それに関わる費用はすべて契約に含まれること。また、改修・工事内容については、事前に当センター担当者と協議すること。 2 搬入・据付・配管・配線・既存品の撤去及び処分 2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの職員と協議の上その指示によること。 2-2 装置の廃棄に関しては、関係法令に反することなく適正に処分するため、処分に関する証明としてマニフェストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行必要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うことの現場で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。 3 保守体制等		ては、木調達に含めること
1-4 本装置稼働に伴い、諸室の改修・工事が必要な場合は、それに関わる費用はすべて契約に含まれること。また、改修・工事内容については、事前に当センター担当者と協議すること。 2 搬入・据付・配管・配線・既存品の撤去及び処分 2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの職員と協議の上その指示によること。 2-2 装置の廃棄に関しては、関係法令に反することなく適正に処分するため、処分に関する証明としてマニフェストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行必要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこ据付で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。 3 保守体制等	1-3	
と。また、改修・工事内容については、事前に当センター担当者と協議すること。 2 搬入・据付・配管・配線・既存品の撤去及び処分 2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの職員と協議の上その指示によること。 2-2 装置の廃棄に関しては、関係法令に反することなく適正に処分するため、処分に関する証明としてマニフェストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行必要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこ据付で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。 3 保守体制等		
投入・据付・配管・配線・既存品の撤去及び処分 2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの 職員と協議の上その指示によること。		
2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの 職員と協議の上その指示によること。 2-2 装置の廃棄に関しては、関係法令に反することなく適正に処分するため、処分に関する証明としてマニフェストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行必要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこと。 3 保守体制等		<u>に。 めた、 以 炒 </u>
2-1 既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの 職員と協議の上その指示によること。 2-2 装置の廃棄に関しては、関係法令に反することなく適正に処分するため、処分に関する証明としてマニフェストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行必要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこと。 3 保守体制等	2	搬入・据付・配管・配線・既存品の撤去及び処分
職員と協議の上その指示によること。 2-2 装置の廃棄に関しては、関係法令に反することなく適正に処分するため、処分に関する証明としてマニフェストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行2-3 必要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこ2-6 据付で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。		
2-2 装置の廃棄に関しては、関係法令に反することなく適正に処分するため、処分に関する証明としてマニフェストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行 2-3 必要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこ2-6 据付で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。 3 保守体制等		
ニフェストを提出すること。また、既存装置の撤去及び搬出については、納入業者の金額負担にて行 必要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこ 2-6 据付で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。 3 保守体制等	2-2	
2-3必要諸室の改修・工事および装置の設置工事が必要な場合は、納入予定日、工事予定期間を事前に当センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。2-4装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。2-5装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこと2-6据付で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。3保守体制等		
センターの職員と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。 2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこと。 2-6 据付で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。 3 保守体制等	2_2	
2-4 装置搬入に際しては診療上支障のない工程とし、必要に応じて納入業者側で養生等を用意し、破損の無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこと。 2-6 据付で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。 3 保守体制等	2-3	
無いようにすること。 2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこ 2-6 据付で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。 3 保守体制等	2.4	
2-5 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこ 2-6 据付で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。 3 保守体制等	Z-4	
2-6据付で発生した廃材等は落札業者負担にて撤去すること。3保守体制等		
3 保守体制等		
	2-6	据付で発生した廃材等は洛札業者負担にて撤去すること。
3-1 通常の使用で発生した故障の修理及び定期的保守点検を実施できる体制であること。		
	3-1	通常の使用で発生した故障の修理及び定期的保守点検を実施できる体制であること。

3-2 納入検査確認後1年間以上は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じること。 3-3 保守には、定期点検及び故障時の作業費を含むものとする。 4 障害支援体制等 4-1 障害時において復旧のための通報を受けてから24時間以内に現場で対応できると判断される体制で	
4 障害支援体制等	
4-1 障害時において復旧のための通報を受けてから24時間以内に現場で対応できると判断される体制で	
あること。	
5 その他	
5-1 担当医師及び担当技師等に対する導入時教育訓練は、供給者の負担で当センターが指定する日時、場	
所で行うこと。また、納入後1年間は内容と日程を協議し対応すること。	
5-2 操作マニュアルは、各装置(周辺機器を除く)について日本語版を2部以上提供もしくは電子データ	
として有すること。	
5-3 本装置の導入に伴う申請や届出書類(案)等が必要な場合、作成・対応に協力すること。	
5-3 本装置の導入に伴う申請や届出書類(案)等が必要な場合、作成・対応に協力すること。	

暴力団等の排除に関する特記仕様書

大阪市民病院機構(以下「発注者」という。)が締結する契約等から暴力団を排除する措置については、「大阪市暴力団排除条例」(以下「条例」という。)、「大阪市暴力団排除条例施行規則」及び「大阪市契約関係暴力団排除措置要綱」(以下「要綱」という。)に準拠し、大阪市と同様の措置を講じる。

1 暴力団等の排除について

- (1)受注者(受注者が共同企業体であるときは、その構成員のいずれかの者。以下同じ。)は、大阪市暴力団排除条例(平成23年大阪市条例第10号。以下「条例」という。)第2条第2号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)又は同条第3号に規定する暴力団密接関係者(以下「暴力団密接関係者」という。)に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をしてはならない。
- (2)受注者は、条例第7条各号に規定する下請負人等(以下「下請負人等」という。)に、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をさせてはならない。

また、受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をした場合は当該契約を解除させなければならない。

(3)受注者は、この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から条例第9条に規定する不当介入(以下「不当介入」という。)を受けたときは、速やかに、この契約に係る発注者監督職員若しくは検査職員又は当該事務事業を所管する担当課長(以下「監督職員等」という。)へ報告するとともに、警察への届出を行わなければならない。

また受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から不当介入を受けたときは、当該下請負人等に対し、速やかに監督職員等へ報告するとともに警察への届出を行うよう、指導しなければならない。

- (4) 受注者及び下請負人等が、正当な理由なく委託者に対し前号に規定する報告をしなかったと認めるときは、条例第12条に基づく公表及び大阪市民病院機構競争入札参加停止措置要綱及び大阪市競争入札参加停止措置要綱による停止措置を行うことがある。
- (5) 受注者は第3号に定める報告及び届出により、発注者及び大阪市が行う調査並びに警察が行う捜査に協力しなければならない。
- (6)発注者及び受注者は、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者からの不当介入により契約の適正な履行が阻害されるおそれがあるときは、双方協議の上、履行日程の調整、履行期間の延長、履行内容の変更その他必要と認められる措置を講じることとする。

2 誓約書の提出について

受注者及び下請負人等は、暴力団員又は暴力団密接関係者でないことをそれぞれが表明した誓約書を提出しなければならない。ただし、発注者が必要でないと判断した場合はこの限りでない。

職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例に基づく特記仕様書

大阪市民病院機構(以下「発注者」という。)は、職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例に準拠し、大阪市と同様の取扱いをするものとする。

(条例の遵守)

第1条 受注者及び受注者の役職員は、受注業務の履行に際しては、「職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例」(平成18年大阪市条例第16号)(以下「条例」という。)第5条に規定する責務を果たさなければならない。

(公益通報等の報告)

- 第2条 受注者は、受注業務について、次の各号に定める場合、速やかに、その内容を発注者(地方独立行政法人大阪市民病院機構法人運営本部内部監察室)へ報告しなければならない。
 - (1) 条例第2条第1項に規定する公益通報を受けたとき
 - (2) 発注者の職員から、違法または不適正な要求を受けたとき
- 2 受注者は、公益通報をした者又は公益通報に係る通報対象事実に係る調査に協力した者から、 条例第12条第1項に規定する申出を受けたときは、直ちに、当該申出の内容を発注者(地方独立行政法人大阪市民病院機構法人運営本部内部監察室)へ報告しなければならない。

(調査の協力)

第3条 受注者及び受注者の役職員は、発注者又は大阪市公正職務審査委員会が条例に基づき行う 調査に協力しなければならない。

(公益通報に係る情報の取扱い)

第4条 受注者の役職員又は受注者の役職員であった者は、正当な理由なく公益通報に係る事務の 処理に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

(発注者の解除権)

- 第5条 発注者は、受注者が、条例の規定に基づく調査に正当な理由なく協力しないとき又は条例 の規定に基づく勧告に正当な理由なく従わないときは、本契約を解除することができる。
- 地方独立行政法人大阪市民病院機構 法人運営本部内部監察室の連絡先:06-6929-3569

個人情報等の保護に関する特記仕様書

この契約の履行にあたって個人情報は、市民の個人情報保護の重要性に鑑み、個人情報の保護に関する法律及び大阪市個人情報保護条例の趣旨を踏まえ、適切に取り扱わなければならない。